

〈感受性試験実施薬剤と商品名〉

系統	項目 コード	日本化学療法 学会制定略号	抗菌薬名	主な商品名（投与剤形）	経口	注射	外用 その他
ペニシリン系	1501	PCG	ベンジルペニシリン（ペニシリンG）	ペニシリンGカリウム（注射用）、バイシリンG（顆粒）	○	○	
	1502	ABPC	アンピシリン	ピクシリン（カプセル・ドライシロップ）（注射用）	○	○	
	1504	AMPC	アモキシシリン	バセットシン（錠・カプセル・細粒）、サワシリン（錠・カプセル・細粒）、アモリン（カプセル・細粒）、ワイドシリン（細粒）	○		
	1507	MPIPC	オキサシリン				
	1512	PIPC	ピペラシリン	ベントシリン（注射用・静注用）		○	
βラクタマーゼ阻害薬	1622	AMPC/CVA	アモキシシリン/クラバン酸	オーグメンチン（配合錠）、クラバモックス（小児用配合ドライシロップ）	○		
	1656	ABPC/SBT	アンピシリン/スルバクタム	ユナシン-S（静注用）、スルバクシン（静注用） スルバシリン（静注用）		○	
	1666	TAZ/PIPC	タゾバクタム/ピペラシリン	ゾシン（静注用）、ダゾピベタゾシン（配合静注用）		○	
	1629	SBT/CPZ	スルバクタム/セフォペラゾン	スルペラゾン（静注用）、セフロニック（静注用）		○	
セフェム系	1540	CMZ	セフメタゾール	セフメタゾン（静注用・筋注用・点滴静注用）		○	
	1525	CEZ	セファゾリン	セファメジンα（静注用・筋注用・点滴用）		○	
	1549	CCL	セファクロル	ケフラール（カプセル・細粒（小児用）） L-ケフラール（顆粒（徐放））	○		
	1532	CTM	セフォチアム	パンスボリン（静注用・筋注用）、ハロスボア（静注用）		○	
	1533	CTX	セフォタキシム	クラフォラン（注射用）、セフォタックス（注射用）		○	
	1531	CPZ	セフォペラゾン	セフォビッド（注射用）、セフォペラジン（注射用）		○	
	1534	CZX	セフチゾキシム	エポセリン（坐剤）			○
	1535	CMX	セフメノキシム	ベストコール（筋注用・静注用） ベストロン（点眼・耳鼻科用（局所外用液剤））		○	○
	1537	CAZ	セフトアジジム	モダシン（静注用）、モベンゾシン（静注用）		○	
	1538	CTRX	セフトリアキソン	ロセフィン（静注用・点滴静注用）、セフキソン（静注用）		○	
	1544	CEX	セファレキシム	ケフレックス（カプセル・シロップ用細粒） L-ケフレックス（顆粒・小児用顆粒）	○		
	1626	CFIX	セフィキシム	セフスパン（カプセル・細粒）、セフィーナ（細粒）	○		
	1551	LMOX	ラタモキシフ	シオマリン（静注用）		○	
	1635	FMOX	フロモキシフ	フルマリン（静注用）		○	
	1645	CFDN	セフジニル	セフゾン（カプセル・細粒（小児用））	○		
	1647	CPR	セフピロム	セフピロム硫酸塩（静注用）、ケイテン（静注用）		○	
	1653	CDTR-PI	セフジトレン ピボキシル	メイアクトMS（錠・小児用細粒）	○		
	1654	CZOP	セフォゾプラン	ファーストシン（静注用）		○	
	1659	CFPN-PI	セフカベンピボキシル	フロモックス（錠・小児用細粒）	○		
	1655	CFPM	セフェビム	マキシピーム（注射用・点滴静注用）		○	
	1637	CPDX-PR	セフボドキシムプロキセチル	パナン（錠・ドライシロップ）	○		
	1632	CXM-AX	セフロキシム アキセチル	オラセフ（錠）	○		
	1627	CFTM-PI	セフテラム ピボキシル	トミロン（錠・細粒（小児用））	○		
*1	1658	FRPM	ファロベネム	ファロム（錠・ドライシロップ小児用）	○		
*2	1553	AZT	アズトレオナム	アザクタム（注射用）		○	
カルバペネム系	1624	IPM/CS	イミペネム/シラスタチン	チエナム（点滴静注用・筋注用）、イミスタン（点滴静注用）、 インダスト（点滴静注用）		○	
	1657	MEPM	メロベネム	メロペン（点滴用）		○	
	1668	BIPM	ビアベネム	オメガシン（点滴用）		○	
	1673	DRPM	ドリベネム	フィニバックス（点滴静注用）		○	
	1678	TBPM-PI	テビベネム/ピボキシル	オラベネム（小児用細粒）	○		
アミノグリコシド系	1560	GM	ゲンタマイシン	ゲンタシン（注射用）（軟膏・クリーム）、ゲンタロール（点眼）		○	○
	1559	DKB	ジベカシン	パニマイシン（注射用・注射液）（点眼）		○	○
	1561	TOB	トブラマイシン	トブラシン（注）（点眼）、トービー（吸入液）		○	○
	1562	AMK	アミカシン	アミカシン硫酸塩（注射液）		○	
	1634	ISP	イセパマイシン	イセパシン（注射液）、エクサシン（注射液）		○	
	1642	ABK	アルベカシン	ハベカシン（注射液）		○	

*1 ペネム系

*2 モノバクタム系

（注）注射剤

（錠）錠剤

系統	項目 コード	日本化学療法 学会制定略号	抗菌薬名	主な商品名（投与剤形）	経口	注射	外用 その他
マクロライド系	1572	EM	エリスロマイシン	エリスロシン（錠・ドライシロップ）（点滴静注用）、エリスロシンW（顆粒・ドライシロップ）、エリスロマイシン（錠）	○	○	
	1575	JM	ジョサマイシン	ジョサマイ（シロップ・ドライシロップ）、ジョサマイシン（錠）	○		
	1664	AZM	アジスロマイシン	ジスロマック（錠・カプセル小児用・細粒小児用）（点滴静注用）、ジスロマックSR（成人用ドライシロップ）	○	○	
	1644	CAM	クラリスロマイシン	クラリス（錠・ドライシロップ小児用）、クラリシッド（錠・ドライシロップ小児用）	○		
*3	1583	TC	テトラサイクリン	アクロマイシン（末・トローチ）（軟膏）、アクロマイシンV（カプセル）	○		○
	1586	MINO	ミノサイクリン	ミノマイシン（錠・カプセル・顆粒）（点滴静注用）	○	○	
*4	1587	CP	クロラムフェニコール	クロロマイセチン（錠）（軟膏・局所用液）、クロラムフェニコール（点眼）、クロロマイセチンサクシネート（静注用）、クロマイ（腔錠）	○	○	○
キノロン系	1651	LVFX	レボフロキサシン	クラビット（錠・細粒）（点滴静注用）（点眼）	○	○	○
	1599	NFLX	ノルフロキサシン	バクシダール（錠）（点眼）	○		○
	1621	OFLX	オフロキサシン	タリビッド（錠）（点眼・眼軟膏・耳科用液）	○		○
	1633	CPFX	シプロフロキサシン	シプロキサ（錠）（注）	○	○	
	1594	NA	ナリジクス酸	ウイントマイロン（錠・シロップ）	○		
	1669	PZFX	バズフロキサシン	バシル（点滴静注液）、バズクロス（点滴静注液）		○	
	1638	TFLX	トスフロキサシン	オゼックス（錠・細粒小児用）（点眼）、トスキサシン（錠）	○		○
	1639	LFLX	ロメフロキサシン	パレオン（カプセル・錠）、ロメフロン（点眼・耳科用液）	○		○
	1674	MFLX	モキシフロキサシン	アベロックス（錠）、ベガモックス（点眼）	○		○
	1675	GRNX	ガレノキサシン	ジェニナック（錠）	○		
	1677	STFX	シタフロキサシン	グレースビット（錠・細粒）	○		
*5	1577	LCM	リンコマイシン	リンコシン（カプセル）（注射液）、リスピオン（注）、ペランコシン（注）	○	○	
	1578	CLDM	クリンダマイシン	ダラシン（カプセル）、ダラシンS（注射液）、ダラシンT（ゲル・ローション）	○	○	○
ポリペプチド系	1589	CL	コリスチン	コリマイシン（散）、メタコリマイシン（カプセル・顆粒）、オルドレブ（点滴静注用）	○	○	
	1592	VCM	バンコマイシン	塩酸バンコマイシン（散）（点滴静注用）、バンコマイシン（散）（点滴静注用）（眼軟膏）	○	○	○
	1661	TEIC	テイコブラニン	タゴシッド（注射用）、テイコブラニン（点滴静注用）		○	
その他	1593	ST	スルファメトキサゾール - トリメトプリム	バクタ（配合錠・配合顆粒）、バクトラミン（配合錠・配合顆粒）、ダイフェン（配合錠・配合顆粒）	○	○	
	1602	FOM	ホスホマイシン	ホスミシン（錠・ドライシロップ）、ホスミシンS（静注用・点滴静注用）（耳科用）	○	○	○
	1662	MUP	ムピロシン	バクトロバン（鼻腔用軟膏）			○
	4670	RFP	リファンピシン	リファジン（カプセル）、アプテシン（カプセル）	○		
	1672	LZD	リネゾリド	ザイボックス（錠）（注射液）	○	○	
	1679	DAP	ダブトマイシン	キューピシン（静注用）		○	
	1680	MNZ	メトロニダゾール（抗原虫剤）	フラジール（内服錠）、アスゾール（錠）	○		

*3 テトラサイクリン系
(注) 注射剤 (錠) 錠剤

*4 クロラムフェニコール系
(末) 粉末 (散) 散剤

*5 リンコマイシン系

塗抹検査の報告表記

表 記	細菌 (1000倍鏡検)	白血球、上皮細胞 (1000倍鏡検)
(-)	認めず	認めず
(1+)	1 視野 <1	全視野 <1～数個
(2+)	1 視野 1～5	数視野 1
(3+)	1 視野 6～30	1 視野 =1
(4+)	1 視野 >30	1 視野 >2

(参考 日本衛生検査所協会「細菌検査 塗抹・培養 ガイドライン」)

抗酸菌塗抹検査の報告表記

表 記	チール・ネルゼン染色 (1000倍鏡検)	蛍光染色 (200倍鏡検)	備考 (相当する ガフキー号数)
—	0/300視野	0/30視野	G0
±	1～2/300視野	1～2/30視野	G1
1+	1～9/100視野	1～19/10視野	G2
2+	>10/100視野	>20/10視野	G5
3+	>10/1視野	>100/1視野	G9

(参考 抗酸菌検査ガイド2020)

喀痰の品質評価について

一般細菌塗抹検査（材料：喀痰）をご依頼頂いた際に、検体の品質評価（Miller & Jones分類およびGeckler分類）をご報告します。検査結果を判断する際は、品質評価の結果をご参照ください。

下気道感染症（肺炎や気管支炎など）では、検査材料として喀痰が用いられますが、上気道や口腔内の常在菌が多量に混入していることがあり、喀痰の品質評価は、喀痰が検査に適しているかどうかを判断するために重要です。

Miller & Jones分類では、膿性痰と唾液の混入度合いを5段階で表記し、膿性部分が多いほど検査に適した材料になります。Geckler分類では、標本にて扁平上皮と多核白血球の個数を観察し6段階で表記します。G1、G2の検体は唾液成分を多く含み、喀痰の質は悪く適切な検体とは言えません。G4、G5の検体は唾液成分が少なくなり下気道由来の喀痰が適切に採取された良質の検体とされ、起炎菌の検出される可能性が高くなります。G6は、経気道吸引痰（TTA）や気管支洗浄液の場合、また顆粒球減少症の患者から採取された検体の場合には検査に適すると判断できます。

Miller & Jones分類（喀痰の肉眼的品質評価法）

表記	喀痰の性状
M1	唾液、完全な粘性成分のみの痰
M2	粘性痰のなかに少量の膿性痰を含む
P1	膿性部分が全体の1／3以下の痰
P2	膿性部分が全体の1～2／3の痰
P3	膿性部分が全体の2／3以上の痰

Geckler 分類（喀痰の顕微鏡下での品質評価法）

表記	細胞数（100倍鏡検 1視野あたり）	
	扁平上皮	多核白血球
G1	>25	<10
G2	>25	10～25
G3	>25	>25
G4	10～25	>25
G5	<10	>25
G6	<25	<25